

さとにきたら ええやん

監督・撮影：重江良樹 音楽：SHINGO★西成 プロデューサー・構成：大澤一生（「隣人」「フリーダー・カーロの遺品―石内部、織るように」） 編集：辻井潔（「隣人」「イラク・テグリスに浮かぶ平和」）
音響構成：渡辺丈彦（「ルンタ」「妻の胸レベーター小体認識症」） 制作協力：神吉良輔（ふとっちょの木）、五十嵐美穂、上田昌宏、吉川諒 機材協力：ビジュアルアーツ専門学校大阪 特別協力：小谷忠典
助成：委文化庁文化芸術振興費補助金 企画：ガーラフィルム 宣伝・配給協力：ウッキー・プロダクション 製作・配給：ノンドライコ 2015 | 日本 | 100分 | カラー | 16:9 | 5.1ch | DCP

入場無料

定員(100人)に
なり次第締切

日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年間続く子どもたちの集い場「こどもの里」
人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー！



詳しくは裏面をじっくりご覧ください

映画上映 & トークセッション

日時 7月15日(土) 13:00~16:40 (開場 12:20)

会場 コープこうべ住吉事務所 7階

ユニセフ国際セミナー 映画上映 & トークセッション

▶ スケジュール

13:00～ 映画上映
休憩

15:00～ トークセッション

- 荘保共子さん
- 浜田進士さん

▶ 定員 100人 (定員になり次第締切)

映画紹介

“さと”と呼ばれる「こどもの里」は、子どもの親たちも休息できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、貴重な地域の集い場として在り続けてきました。本作では「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも力強く成長していく子どもたちと、彼らを支える職員たちに密着。子どもたちの心の揺れ動きを見つめながら、子どもも大人も抱えている「しんどさ」と格闘する人々の切実な姿を描き出しています。

講師紹介



しょうほ ともこ

荘保 共子さん

NPO法人「こどもの里」理事長

1977年西成消防署の横に学童保育「こどもの広場」を開設、1980年西成警察署南横に「こどもの里」として移設、現在に至る。労働者の街、釜ヶ崎で約40年にわたり子どもの暮らしを支えている。



はまだ しんじ

浜田 進士さん

自立援助ホーム「あらんの家」ホーム長

子どもの権利条約総合研究所関西事務所長。宝塚市子どもの権利オンブズパーソン。子どもの人権ファシリテーター。元関西学院大学教育学部准教授。

▶ 主催：ユニセフセタネットワーク (大阪・奈良・岡山・広島・香川・愛媛・兵庫の各県協会)

▶ 共催：コープこうべ

▶▶ お問合せ・お申込み ◀◀

兵庫県ユニセフ協会



TEL : 078-435-1605

E-mail : h-unicef@kobe.coop.or.jp

